



第251回農林交流センターワークショップ（参加費無料）

11月11日水～13日金

## 次世代シーケンサーのデータ解析技術

お申込み前に以下ご確認ください。

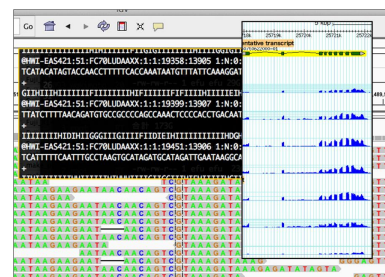
【申込条件等】Linux/Unixの基礎的なコマンドを理解し操作できて、例えば、lessコマンドの扱いなどに説明を要しないことを前提とします。申し込み多数の場合、実データを所有し、すぐに解析の必要性のある方を優先します（ネットワーク環境は、こちらで準備したものをご使用いただきます。）。

【重要】指定の条件を満たすノートPCをご持参いただきます。詳細はウェブページをご確認ください。

近年、次世代シーケンサー（NGS）が広く利用されるようになり、農学など応用系の分野でも大量塩基配列データを扱う必要は急速に高まりました。NGSによる塩基配列決定は低コスト化が進み、自らデータを取得しかつ解析することが多くの研究過程で求められています。

本ワークショップでは、農林水産生物に関わる研究者が、実習を通してNGSデータ解析の実際を知り、NGSデータを扱う実践的な力を身につけることを目標とします。コマンドラインでのさまざまなデータ解析を学び、NGSデータ解析の全体像を理解していただくことを目指します。

- ▶開催日：令和8年11月11日（水）～11月13日（金）※3日間
- ▶開催場所：農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター  
（茨城県つくば市観音台2-1-9）
- ▶申込対象：産学官の試験研究機関の研究者で、次世代シーケンサーのデータ解析技術に関心のある方
- ▶募集人数：20名（全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。）
- ▶その他：研修生宿泊施設のご利用は、受講決定後にお伺いします。



## コーディネーター・講師

農研機構 高度分析研究センター  
ゲノム情報大規模解析グループ  
川原 善浩、熊谷 真彦

※農研機構とは...  
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の  
コミュニケーションネーム（通称）です。

## 講義と実習の概要

## 11月11日（水）9:30～16:40

- 09:30～09:35 【開講】本ワークショップについて
- 09:35～10:30 【実習】NGSデータ概論
- 10:30～12:00 【実習】ゲノムシーケンシングデータを処理する（1）
- 13:00～14:30 【実習】ゲノムシーケンシングデータを処理する（2）
- 14:40～15:40 【特別講義（1）】演題未定
- 15:40～16:40 【特別講義（2）】演題未定

※特別講義の演題及び講師につきましては、現在調整中です。詳細はウェブページにてご確認ください。

## 11月12日（木）9:30～16:00

- 09:30～12:00 【実習】VCFデータを“いじってあそび！”  
～分子系統解析やら集団遺伝学的解析をやってみる時間～
- 13:00～16:00 【実習】ゲノム新規アセンブル

## 11月13日（金）9:30～16:00

- 09:30～12:00 【実習】メタゲノム解析の基礎
- 13:00～16:00 【実習】RNA-Seqによる大量発現データ解析
- 16:00 【閉講】

## 講師



農研機構 高度分析研究センター  
ゲノム情報大規模解析グループ

川原 善浩（グループ長）  
熊谷 真彦（主任研究員）  
矢野 亮一（上級研究員）  
矢崎 裕規（主任研究員）

## 特別講師

川崎 純菜  
（大阪大学 特任准教授）  
ジェフリ フォーセット  
（確認中）

申込締切日 令和8年10月4日（日）まで

お申込みはウェブページよりお願いいたします。選考結果は、10月9日頃メールにてご連絡いたします。



農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課  
〒306-8601 茨城県つくば市観音台2-1-9 TEL.029 (838) 7136 E-mail: koryu7129@maff.go.jp  
ホームページURL: <https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/>

